



地方独立行政法人

那覇市立病院

# 第21巻 きざし

2014.3  
Vol.

21



## Contents

気管支喘息

2

病院機能評価を受審して【後編】

4

治験管理室からお知らせ

6

部署紹介／医事課

7

出産体験記

8

病棟紹介／4階 北病棟

9

第2回

那覇市立病院 がんフォーラム

10

ふれあいポスト

11

メディカルレシピ

きのこ・根菜たっぷりちらし寿司

12

活動報告 Activity Report

13

写真で観る なはの街

14

登録医紹介

15

# 気管支喘息

## 「まさか、自分が!?!」

初めて気管支喘息と指摘をされた患者さんの声の驚きの感想です。そういった感情をもった患者さんにはまず、感情に対するケア・トリートメントから入ることが多くあります。詳しく話を聴いてみますと、「今までにも、なぜの症状があるとゼーゼーすることがあった」「家族に喘息の人がいる」といった以前から症状はあったが、診察は受けずにいた方が少なからずいらつしゃいます。

そのような患者さんには、喘息に対して正しく理解をしていただくこと、治療をきちんと続けることで、発作を回避することができる（＝予防できる）ことを説明しています。

## 「喘息教室」

喘息の病気は、飲み薬や吸入器、瞬間風速・風量の計測など、治療に対する色々なアイテムを使います。薬や器具の適切な飲み方・使用方法、セルフチェックの方法を伝授しているのが「喘息教室」です。

喘息教室は気管支喘息発作で初めて入院した方を対象にしています。

## 「病気を知り、発作のない生活を目指す」

### 喘息教室を受けた方

- これまで気管支喘息の指摘を受けたことがなく、呼吸困難で入院され、精密検査の結果、気管支喘息と確定診断された
- 気管支喘息の指摘を受け、これまで吸入療法を欠かさずに行っていたが、上下気道感染などをきっかけに喘息発作が悪化し入院が必要となる方
- 気管支喘息の診断を受けていたが、治療を自己中断しており、発作が生じた方

入院期間を上手く利用して、開催をしており、今年度は開催回数18回を数えました。外来での通院時では、細かく説明することが難しかったため、また患者さんに深く理解していただくためにも、場所や時間のある入院期間中の開催にいたしました。



## こんな症状ありませんでしたか？

喘息には、軽いものから重いものまでさまざまな症状があります

### 基本的な喘息の症状

- ・ 咳
- ・ 胸の圧迫感
- ・ 息が苦しい
- ・ 安静時の呼吸でもゼーゼーヒューヒューと聞こえる
- ・ 喉がイガイガする
- ・ 痰が多い
- ・ 呼吸機能の低下

### 見逃しやすい喘息の症状

- ・ 軽い刺激で咳込む  
\*刺激とは  
運動、階段昇降、冷たい空気を吸う、坂道を上がる、大声で笑う、ほこりやたばこの煙、疲労やストレスなど
- ・ 風邪をひきやすい
- ・ 苦しくて夜目覚める
- ・ 発作止め吸入薬（サルタノール・メブテン）を毎日吸入している



さどやま しんこ  
呼吸器内科医 佐渡山 伸子

みなさま初めまして。4階北病棟で看護師・薬剤師・相談員をはじめとするコメディカルとともに日々診療にあたっています。

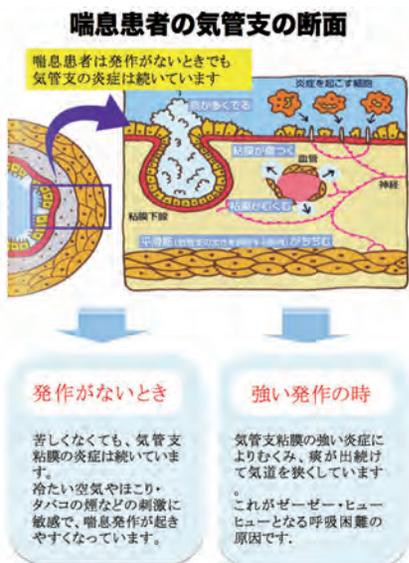
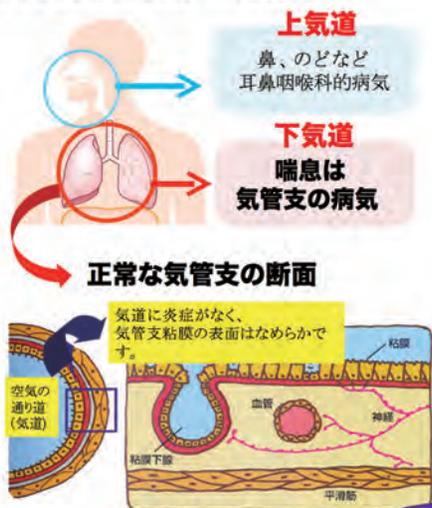
治療の結果、発作が治まり、息苦しさがなくなると『完治した』『もう発作は起きない』『寒くなるから発作が起きるものだ』と思いきこんでしまいがちです。

薬をのむことを中断してしまった結果、再発するケースもあります。

# 喘息のメカニズム

気道の炎症によって、気道が狭くなる病気のことをいいます。発作がない状態でも気管支の炎症は続いているため、ホコリやタバコの煙、冷たい空気等の刺激によって、発作が引き起こされます。

喘息は気道の炎症によって気道が狭くなる病気です。正常な気管支の断面と比べてみましょう。



発作を引き起こす原因には、さまざまなもの

があります。外的な要因だけではなく、心理的なストレスによっても、発作を引き起こされま

す。喘息は、ペットの毛やダニ、穀物や花粉などのアレルギー、タバコの煙や薬、心理的ストレスや気温の変化などの増悪因子により、気管支が刺激を受けて炎症をおこし喘息発作を誘発します。



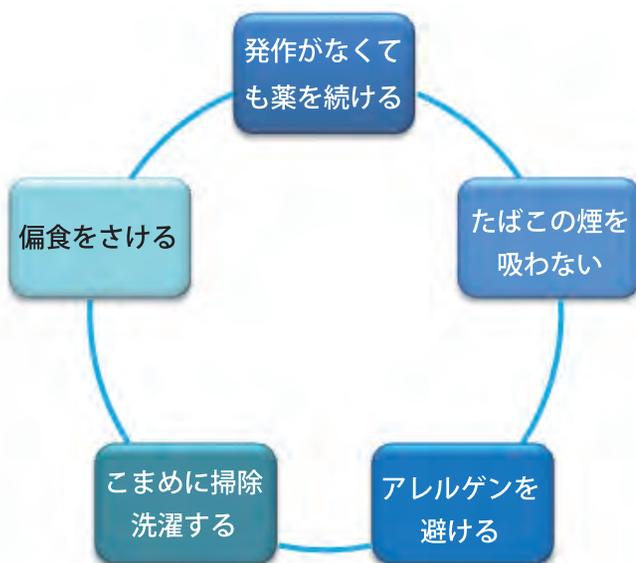
## 喘息との付き合い方

発作が起きないように  
コントロールする

喘息と上手く付き合う

という考えをもち、自己管理をすることが重要です。

## 喘息発作の予防法



## 最後に

適切な治療を定期的に受け、上手に喘息をコントロールできれば、健康な人と変わらない生活を送ることができます。そのためにも、まず自分の病気をよく知ることが大切です。

# 病院機能評価を受審して【後編】

経営企画室 企画グループ 黒崎 浩史  
くろさき ひろし

前編では病院機能評価とはどういったものか、評価方法・手順・項目等の説明、評価団体である日本病院機能評価機構の説明をしました。

後編では申請から書面審査、訪問審査への準備、病院が取り組んだ対策、実際の訪問審査についてご紹介します。

## 準備期間は構想を含め13ヶ月

機能評価の認定機関は5年間と決まっています。当院では有効期限である平成25年11月から逆算して、1年以上前の平成24年8月から機能評価受審に向けた構想を開始しました。この時点で、機能評価の評価体系が一新され、従来とは異なる評価体系に変更されることとが判明していました（詳しくは前号を参照）ので、まずは情報を収集することから始まりました。

その後、新評価体系の骨子案が公開されたことを踏まえ、平成24年10月に病院機能評価受審準備委員会が設立されました。この準備委員会は、評価項目を大きく4つの領域にわけ、それぞれの領域ごとに準備を進めていく自立型の組織形態（図1）をとりました。各領域の責任者には副院長と事務局長が務めることになりました。同年12月には日本病院機能

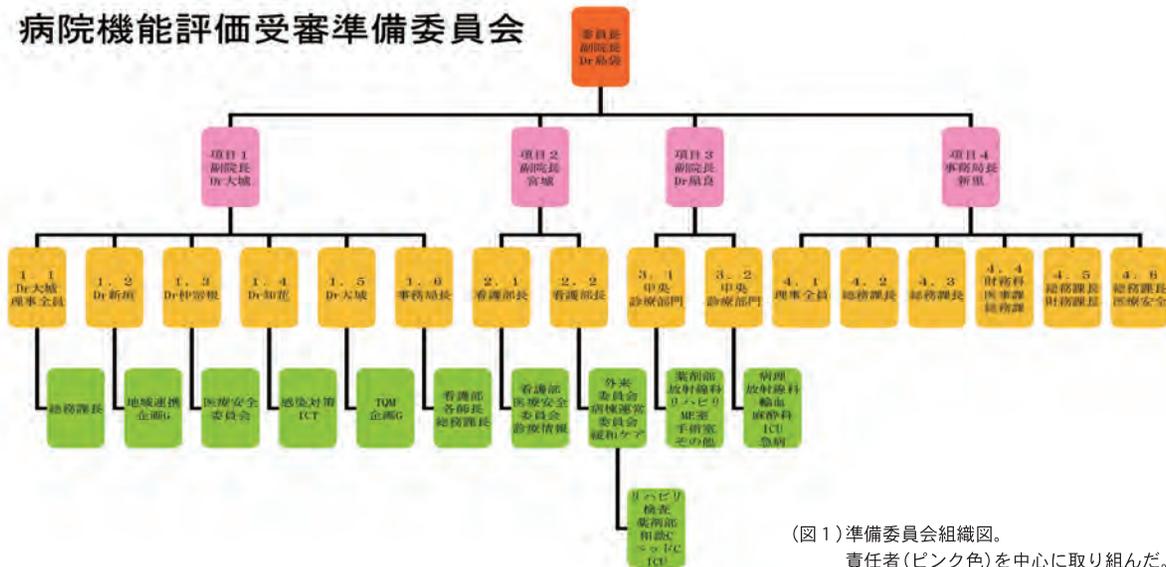
評価機構へ更新受審の意思表示を行い、機能評価準備が本格的にスタートしました。

とはいうものの、評価項目の観点や考え方や意図や目指すべき方向性（望ましいあり方）は読み手ごとに解釈が異なり、統一した見解ではありませんでした。そこで、機構が発行する解説集（図2）を入手しました。解説集をベースに病院長・領域責任者・経営企画室企画グループが一同に集まり、16回に及ぶ読み合わせ・解釈のミーティングを行いました。このミーティングは、次年度の事業・予算ヒアリングの時期と重なったため、会議時間を設定して効率的進行に努めました。1つの評価項目でも、いろいろな部署（職種）の取り組みでもって評価となるため、このミーティングが解釈上で高い効果であったと感じました。こうした細やかな事前ミーティングによって、領域毎の準備がスムーズに進められるようになりました。



（図2）機能評価を受審する病院の「愛読書」となる解説集

## 病院機能評価受審準備委員会



## 事前書類と自己評価

準備の中には、事前提出する資料が数多くありました。5種類98ページで構成されたアンケート調査や病院沿革・病院組織・院内委員会に関するアウトライン情報をそろえました。

88の評価項目を部署ごとに自己評価を行います。このセルフチェックにより、他部署の取り組み状況、満たしていない状況、問題・課題などが浮き彫りになりました。低評価とした部署・その要因を調べ、対策を施すことを繰り返しました。その結果、重点的に対策を必要とする部署・評価項目が明確になりました。

### 病院機能評価 評価シート

項目No.	評価項目	全体	看護部	診療部(内科)	診療部(外科)	診療部(ICU)	検査部	薬剤部	放射線	栄養室
2	良質な医療の実践1									
2.1	診療・ケアにおける質と安全の確保									
2.1.1	診療・ケアの管理・責任体制が明確である	B	B	B	B	A		A		B
2.1.2	診療記録を適切に記載している	B	B	A	B	A		A		B
2.1.3	患者・部位・検体などの誤認防止対策を実践している	B	B	B	B	B	A			B
2.1.4	患者・部位・検体などの誤認防止対策を実践している	B	B	B	B	B	A	A		B
2.1.5	薬剤の安全な使用に向けた対策を実践している	B	B	B	B	A		B		B
2.1.6	転倒・転落防止対策を実践している	B	B	B	B	A				
2.1.7	医療機器を安全に使用している	B	B	B	B	A	A			
2.1.8	患者等の急変時に適切に対応している	B	B	B	B	A	C	B		C
2.1.9	医療関連感染を制御するための活動を実践している	A	A	A	B	A	B	A		C
2.1.10	抗菌薬を適正に使用している	A	A	A	B	B	B	A		

▲自己評価シート。部署ごとの自己評価をリスト化。

## 戸惑いながらのシミュレーション

今回の機能評価で着目されたのが、「ケアプロセス調査」です。ストラクチャー（構造）中心「Ⅱ規程や体制が整備できているか」の審査だったものが、プロセス評価に切り替わりました。診療やケアが適切に行われているか、組織的な活動や機能が発揮されているかを審査するのがプロセス評価です。病院の代表的な疾患で入院された方を抽出し、外来診療から入院・退院にいたるまでの一連の経過に沿って適切であったかどうかを判断します。

この調査に対して、シミュレーションを行いました。調査評価者（サーベイヤー）がどんなことを質問するのか・どのように進行するのかとスタッフから不安の声が挙がったためです。ぶっつけ本番でケアプロセス調査に挑むのは、無謀であろうと判断したのも模擬調査を行うきっかけになりました。

電子カルテを操作する看護師、規程やマニュアルを提示する看護師、質疑に回答する看護師長など実際の調査さながらのシミュレーションを行いました。サーベイヤー役は副看護部長が担い、病棟スタッフ（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、医療ソーシャルワーカー）に対して、質問していきました。質問項目は、解説集や説明会の資料を元で自前で用意したものです。シミュレーション

を行ったことで、「調査内容のイメージを把握できた」「機能評価への準備が一層本格的になった」と準備が活発になったと感じられました。

## 訪問審査当日

訪問審査は2日間にわたって行われます。初日は、病院概要説明、書類確認、面接調査と進行し、午後から病棟ラウンドとケアプロセス調査となりました。

書類確認ではサーベイヤーから矢継ぎ早に指示が飛び、準備書類とは別の書類を用意する対応に追われました。書類上で不明瞭・不備と思われた点は、直ぐにスタッフに問いかけるなど、限られた時間の中で、評価付けをされていきました。

午後の病棟ラウンドでは、病棟内の医療安全、感染対策、薬剤師の関わり、医療機器管理、病棟掲示物など実際の病棟をみる審査が進められました。

懸念していたケアプロセス調査で1時間以上かけて入念に行われました。事前のシミュレーションが功を奏し、概ね想定内の質疑応答となりました。サーベイヤーから取り組みを高く評価してくださったことは、とても嬉しく感じました。と同時に、今一つ足りない項目については、理想の体制・あるべき姿を提示していたとき、今後の参考となりました。

沖縄県第一号

「一般病院2」機能評価認定！

平成26年1月6日付で、日本病院機能評価機構から、「一般病院2」の認定を受けることができました。新しい評価区分（一般病院2）で沖縄県初の認定病院となりました。

病院機能評価機構の認定を得られたことは、当院にとって喜ばしいものです。機能評価では、当院の足りない部分も指摘を受けました。この貴重な経験を忘れず、次の改善につなげることが重要だと考えています。地域からの信頼を得て、自信をもった質の高い医療を提供し続けられるよう取り組んでいきたいと思えます。



治験管理室から

お知らせ

新しい治験が始まりました。

この治験についてお聞きになりたい方、参加ご希望の方は、治験管理室にお問い合わせください。

☎(884)5111(内331)



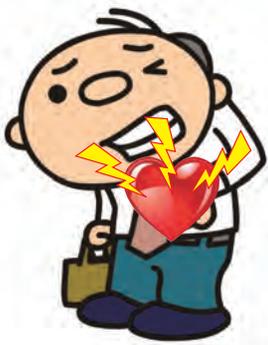
<新規治験>

対象：心不全急性増悪

実施診療科：循環器内科

期間：2013年10月21日～  
2015年3月31日

※治験の参加には、基準が設けられています。基準を満たさない場合は、ご参加いただけないこともあります。



治験とは??

承認前の薬を実際に患者さんに投与し、安全性と有効性を確認するための試験です。厚生労働省へ事前の届出が必要で、安全性を確認しながら実施します。

# 医事課

きんじょう  
よしひろ  
金城 義博



「医事課」とは、主に日々の外来患者さんに対する「外来医事業務」、入院患者さんに対する「入院医事業務」、医療費の請求に係る「保険請求業務」、未収金に対する「未収金業務」、や外来診療録の管理、入院の診療録（カルテ）、レントゲンフィルム<sup>①</sup>の管理に係る「診療情報管理業務」などにより構成されています。医事Gは、課長以下 10名の職員・診療情報管理Gは2名の職員および委託・非常勤職員等の体制で行っています。

● 外来医事業務は、患者登録、外来カルテ作成、診察券作成を行う「新患窓口」、保険変更手続き、期間が空いて受診する患者さん、診察券を忘れた患者さんのための「再来窓口」、患者さんが受診した診療科で行った診療内容を算定し、診療費の請求を行う「計算窓口」、入院の手続を行う「入院受付」で構成されています。

● 病院にいられた患者さんが最初に訪れる新患受付では、痛みや不安を抱えて受診される患者さんに少しでも和らいでいただける言葉掛け、再来受付機や診療費支払機を導入し、お待たせしないよう心がけています。

● 入院医事業務は、入院診療費の算定・請求を行っています。

● 保険請求業務は、会計窓口で自己負担額をお支払いされた以外の診療費を1ヶ月の診療内容にまとめた診療報酬明細書（レセプト）を作成し、保険者へ請求するとともに、診療報酬の査定、請求漏れ防止に取り組んでいます。この保険請求業務が医事課職員の専門性を生かした中心的な業務です。

● 保険請求業務は2年ごとに保険診療報酬改定があり、その度に他職種への指導・教育を行い、正しい保険請求ができるように日々精進しています。

● 未収金業務は、電話督促、督促状発送、訪問、転居調査等で未収金対策の強化を図っている。退院時に未収金が発生しないように随時相談を受けています。

● 診療情報管理業務は、入院診療録（カルテ）やレントゲンフィルムなどの保存管理をしています。

● この他に、労災保険、公務災害、自賠責保険、公費等又は予防接種、書類の受付及び請求なども行っています。

● 医事課職員は病院の理念である「和と奉仕」を目指し、これからも職員の接遇やマナーの教育研修を行い、いつも笑顔で窓口業務にあたるよう心掛けたいと思います。

知念 俊祐(しゅんすけ)くん



知念 芳恵(お母さん)

みなさんこんにちは、私は産婦人科病棟に勤めて5年目の助産師です。これまで仕事で産婦に関わることは多くありましたが、自分自身が妊娠・出産を経験することで多くの発見がありました。

つわりの時には食べたいものが自由に

食べられなかったり、胃がムカムカして夜眠れないこともありましたが、我が子のことを思うとその辛さも嬉しく幸せに感じました。妊娠中期に入ると腰の痛みが強くなり、毎日さらしを巻いての生活でした。さらしを巻くと立ち仕事も楽になるし、長時間座っていても腰が痛くなりません。腰痛のある妊婦さんへぜひお勧めしたいです。当院の産婦人科では骨盤メンテ外来を行っていますので、腰痛のある妊婦さんぜひ活用してください！

出産は陣痛が始まるまでは、これまで辛い出産も見てきたので 私に乗り越えられるだろうかという不安もありましたが、いざ陣痛が始まると いよいよ出産だ、ワクワクする〜！と不安はなく楽しみとやる気いっぱいでした。陣痛中は夫が腰をさすり、頑張れ〜と応援してくれました。普段は頼りない夫ですがこの時は頼もしく感じました。分娩室で

は病棟スタッフにも囲まれ、安心できる雰囲気です。楽しい出産になりました。

今回、妊娠・出産を経験して助産師の役割の大きさを実感しこの仕事によりやりがいを感じました。この経験を活かしていきたいと思います!!



# 4階北病棟

看護師長

なかむら たかこ  
仲村 貴子



4階北病棟は呼吸器・消化器を中心とする内科病棟です。

入院病床数は43床で検査・診断、化学療法、放射線治療、緩和ケアを目的とした患者さんが入院しています。職員は消化器内科医6名、呼吸内科医4名、看護師30名（呼吸療法士4名・NST1名・糖尿病療養指導士1名）、看護補助員5名、病棟クラーク1名、医療ソーシャルワーカー1名、病棟薬剤師2名のチームで治療・患者指導・ケアを行っています。

主な疾患として消化器系疾患では、がんや肝硬変、急性・慢性膵炎をはじめアルコール関連の疾患も多いです。

呼吸器系疾患では、肺がんや急性期の呼吸不全、喘息重積発作、肺炎などがあり、人工呼吸器管理、HOT（在宅酸素）導入、在宅人工呼吸器導入のための指導があります。

また内視鏡的手術・気管支鏡などの検査が多く、クリニカルパスを活用した短期入院のため、内科病棟の中でも病床稼働率98%と入院の多い病棟ですが、患者さんにとって安心・安全な療養環境づくりをこころがけています。

呼吸器内科では毎週金曜日に、医師・看護師・薬剤師が講師となり患者セルフケアにむけての指導をおこなう喘息教室を開催しています。また呼吸療法士が中心となり在宅

酸素導入パンフレットを作成、患者指導に役立てています。

がん患者さんに対してのケアは化学療法・疼痛コントロールなど知識と技術を求められています。また終末期の患者さんも多く、地域がん診療連携拠点病院の一員としてスタッフ一同、笑顔とやさしさで患者さん・家族の思いを大事に心にゆとりを持ったケアを提供することを目指しています。



終末期患者さんの娘さんのサプライズ結婚식을病棟で行いました。



◀「喘息教室」がんばって勉強します！

## 平成25年度 第2回 那覇市立病院がんフォーラム

当院は、平成17年から地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、がんに関する情報及び知識などを一般市民、医療従事者に提供しています。

今回は、牧志駅前ほしぞら図書館「医療・健康情報コーナー」開設記念として、平成26年1月11日（土）那覇市立病院3階講堂に於いて、「患者・市民が求める医療・健康情報の提供や通常の情報である闘病記の意義」についてフォーラムを開催しました。



講師は、上野 創（うえの はじめ）氏（朝日新聞社記者、闘病体験記『がんに向き合って』の著者）で、テーマは、「がんに向き合って―記者の体験から―」でした。

今回は、後援を那覇市教育委員会、那覇市健康増進課、沖縄県がん患者会連合会、沖縄がん心のケア研究会にお願いし、参加人数も60名と多くの方々が熱心に講演に耳を傾けました。

上野氏は、1971年生まれ、東京育ち。1994年朝日新聞社入社。1997年にがん告知を受け、3年間、

入退院を繰り返し、2度の再発を乗り越えて、いまでも元気に働き、遊び、食べる（ときに飲酒）生活をおくつていらっしゃるようです。体験を神奈川県版で連載し、それをまとめた本「がんに向き合って」が第51回日本エッセイスト・クラブ賞（03年）を受賞。多くのがん患者との交流のなかで、学んだり、元気をもらったりしていらっしやいます。

講演では、検査や治療、入院生活、退院後の仕事、家族・同僚・上司との関係等、ご自身の体験から患者さんやご家族、医療従事者へメッセージを届けられました。

告知については、「その言葉の意味を理解するのに、一瞬の間が必要だった。耳から入った言葉が頭の中でぐるぐると回転した。睾丸腫瘍（精巣腫瘍）と告知された瞬間だった。面と向かって現実をつきつけられる痛みが、これほど鋭いと思わなかった。」と話され、

しかし、「衝撃も苦悩もあったが、でも後ろ向きにならず、誰かが自分を試していると感じて、乗り越えてやろうという気になった。」と話されました。また、再発という不安のおかげで、日常生活を送れること、他人がいるから自分ができることへの感謝を忘れずにいられると、日々の気持ちの持ち方にも



以下に、参加された方の声をご紹介します。

「自分が迷っていたことの答えを見つけた気がします。」

「同じ体験、治療をされていた話にとても共感しました。たくさんの方や本を紹介していただきありがとうございます。ありがとうございました。」

「非常に感激しました。日常の中にいた自分が、病人になる非日常へうつる瞬間の不思議な気持ちは家族の気持ちとしても同じようなものがありました。」

「患者本人の辛さがよく伝わってきました。私は家族が腫瘍になったのですが、家族もまたとても辛いものです。」

「生と死を変なオブラートに包むことなく伝えてくださるご講話で自分の中のモヤモヤしたものがスッキリするのを感じました。受け入れると諦めるは違うんですね。」



「若い男性の貴重な体験を話術も素晴らしくわかりやすかったです。支える人、仕事が周囲にあり本当によかったと思います。」

「医療従事者をもっと患者さんに関心を抱く必要があると思います。患者さんの心にある想い、不安、気持ちを引き出すためにやはり信頼関係は不可欠だと思います。」



## ふれあいポストとは・・・

病院に対する意見・要望・苦情の投書箱のことです。当院では院内各所に「ふれあいポスト」を設置し、病院改善や患者サービス向上に努めています。

### ご意見

急病センターの道路でたばこを吸っていたら「ここは禁煙です」と警備員に注意された。

### 回答

当院は敷地内禁煙を実施しており、病院を利用する全ての方へ協力を呼びかけております。急病センターの道路も敷地内のため、禁煙エリアに該当します。この規則を遵守するため、警備員（病院スタッフ）が注意喚起する場合がございます。敷地内禁煙のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ご意見

初めての入院でしたが、どの職員もとても親切でとても安心することができました。また、病棟看護師は若い人が多かったように思いましたが、処置、対応ともとても良かったです。また、話しかけやすかったのが何よりも良かったです。

### 回答

この度は、温かい心あるお言葉ありがとうございました。頂きましたご意見は、当該部署へお伝えしたところ、スタッフ一同大変感激しています。これからも利用される方々のため、こころのこもった医療サービスを提供して参りたいと思います。



# きのこ・根菜たっぷりちらし寿司

酢飯に細かく切った具を混ぜ込んだり、色々な具を散らして作る、ちらし寿司。具材を工夫することで、ひな祭りや誕生日などの祝い事といったハレの日の料理として、また手軽な家庭料理として親しまれています。見た目も華やかなので、ひな祭り・合格・入学祝いとこれからの季節に大活躍しそうですね。そんなちらし寿司を、おいしく健康的に食べるためのレシピを紹介します！



## 減塩ポイント！ 小技を効かせて塩分に替わる味付けのアクセントを！

酸味：酢をきかせることで味にメリハリが付きます。  
香り：大葉を使用し、食欲をそそる香りと緑色のトッピングで見た目にも鮮やかです。  
出汁：かつおとシイタケのだしを濃いめにとりました。自然な旨みで減塩効果抜群です。

## きのこ・根菜の食物繊維たっぷり！

食物繊維には血中コレステロール低下、便秘解消、血圧抑制等の効果が認められています。また、ご飯を単体で食べるより、食物繊維も同時に摂取することで血糖値抑制効果も期待できます。

## たんぱく質食品は使用していないので、主菜の料理をしっかり食べることができます。

魚介類や卵、桜でんぶ等使用していないので、主食（+副菜）という感覚でいただけます。お祝いの席は美味しいおかず（特にお肉やお魚などの蛋白質食品）も同時に並んでいますね。ついつい食べ過ぎてしまいがちですので、主食はたんぱく質食品が入らないように工夫しました。



エネルギー193kcal

### 【材料】 5人分

ごはん(炊き)	500g
酢	30g
人参	25g
レンコン	25g
タケノコ	25g
まいたけ	20g
しめじ	15g
干しシイタケ	5g
醤油	15g
酒	7.5g
みりん	50g
低カロリー甘味料	4g
だし汁	100g
刻みのり	
大葉	

### 作り方

- ①しめじ・マイタケは手でほぐし食べやすい大きさに、椎茸・タケノコ・レンコンはスライスし、人参は千切りにします。
- ②かつお節と椎茸でだし汁をしっかりとり、Aの醤油・酒・みりん・低カロリー甘味料を合わせ火にかけます。
- ③ ①で準備した具材を②にいれます。フタをして約10分煮ます。
- ④具に火が通ったら、火を止めて冷まします。
- ⑤あらかじめ炊いて冷ましておいたご飯に酢を加え、しゃもじで切るように混ぜて酢飯を作ります。
- ⑥出来上がった酢飯に汁気を切った具を加え更に混ぜ合わせます。
- ⑦味見をしながら、具材の残りの煮汁を少々加えていき、味を整えます。
- ⑧最後に刻みのりと大葉をトッピングしたら出来上がり♪

# Activity Report

## 平成25年病院忘年会開催

昨年12月26日、ロワジールホテル&スパタワーにおいて、那覇市立病院職員忘年会が開催されました。忘年会の開催は10数年振りで、互助会を中心に委員会が構成され、準備を進めてきました。久しぶりの開催であることや、職員が大幅に増えたことから、準備に苦労しました。

リハビリスタッフによるダンスや市立病院10大ニュース、お馴染みの職員バンド、全部署が参加したムービー上映（恋するフォーチュンクッキー）など、数々の余興が繰り広げられました。

「色々な部署と交流ができて、良かった」「本当に楽しかった」と大盛況のうちに閉会となりました。

## 那覇空港航空機事故訓練

1月23日、那覇空港において、航空機事故訓練が行われ、当院からDMATが参加しました。那覇空港を管理する国土交通省をはじめ、陸・海・空の自衛隊、消防、警察、医療（DMAT・医師会・赤

十字）、各航空会社などが参加する大規模な訓練です。

那覇空港に胴体着陸した事故を想定し、傷病者の救助・救急医療・搬送の展開を行いました。



## チエロ演奏と大震災の体験

2月19日、東北大学病院で脳神経外科医として活躍されている高橋明氏が来院し、病院の来院者向けに「チエロ演奏と東日本大震

災の体験談」のイベントを開催しました。

高橋氏は、宮城県仙台市で東日本大震災を経験されました。地震や津波、原発事故や風評被害に苦しむ被災地域の方々と交流し、「音楽の力」による復興支援を精力的に行っています。

はじめに写真を映しながら東日本大震災の経験談のあと、現在の被災地域のお話をされました。その後、チエロによる演奏、プロのピアノリスト、県立芸術大学学生のヴァイオリンリストとの演奏に聴衆を楽しませてくれました。



## 院内QC大会

1月31日、第5回院内QC大会が開催されました。業務改善事例の発表大会です。QC部門予選会を突破した4サークル、フリー部門4サークルが発表しました。

### 最優秀賞サークルからコメント

『私たちチームホルスタインは、新生児集中治療室（NICU）における「母乳やミルクの分注作業の効率化」をテーマに取り組みました。その結果、安全を保持しつつ、効率化の目標を達成しました。看護師のストレス減少、コスト削減にもつながりました。さらに、この活動が栄養室の業務改善へとつながり、win・winの結果になったことに充実感を感じました。副賞の賞金で美味しいグルメを堪能できました。やりがいを感じられた業務改善になりました。ありがとうございます。』

# 写真で観るなはの街



## 冬の海でクジラと出会う。

12月から4月にかけて「ザトウクジラ」は出産と子度立てのため、あたたかい海にやってくる。海面の近くを泳ぎ、ダイナミックなジャンプや潮吹きなど、さまざまパフォーマンスがみられる。

写真提供：株式会社パム（沖縄ツアーランド）

沖縄 ツアーランド

ホエールウォッチングのご用命は、沖縄ツアーランドにおまかせください。

<http://option.okitour.net/>

**登 録 医 紹 介** 当院と連携してる登録医を紹介しています

当院は病診連携を一層推進するために登録医制を設けております。オープンシステムも備えています。お問い合わせは地域医療連携室まで！ TEL.098-884-5134（直通） FAX.098-886-5502

## さきはら内科

【診療科】 循環器内科・一般内科



院長 崎原 永啓

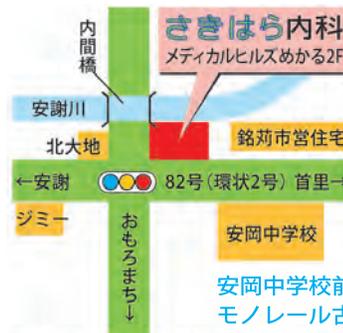


	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~11:30 受付	○	○	○	/	○	○	/
午後 1:00~5:30 受付	○	○	○	/	○	○	/

【休診】 木曜・日曜・祝祭日

**☎988-3559**

那覇市銘苅 303 メディカルヒルズめがるビル 2F



安岡中学校前バス停から徒歩1分  
モノレール古島駅から徒歩10分

## みやざと整形クリニック

【診療科】 整形外科・リハビリテーション科



院長 宮里 聡



	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 2:00~5:30	○	○	○	/	○	/

【休診】 日曜日・祝日・木、土の午後

**☎879-8800**

浦添市経塚 745-7 経塚駅前医療モール 1F



アクセス ●国際センター前バス停前  
方法 ●ゆいレール経塚駅(2019年 開通予定)※

# 受付対応の変更について

当院は県知事承認の地域医療支援病院です。

専門診療、救急医療、検査、手術、入院治療を行っています。  
地域の皆さんに充実した医療を提供する為、次の様に対応を変更させていただきます。

平成26年3月13日(木)から

**内科受付** 午前・午後の外来診療  
すべてを【再診外来】

紹介状をお持ちの方の【紹介外来】といたします。

予約以外で紹介状をお持ちでない患者さんは  
近隣のクリニックをご案内させていただきます。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

## 診療科

内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科  
神経内科 血液内科 腎臓内科 糖尿病内科  
内分泌内科 リウマチ科 小児科 精神科 外科  
呼吸器外科 消化器外科 小児外科 内視鏡外科  
乳腺外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科  
泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 救急科  
リハビリテーション科 病理診断科 放射線診断科  
放射線治療科 麻酔科 歯科口腔外科 歯科

## 受付時間

8:00~11:00 / 13:00~16:00

※診療科によって異なる



## 病院理念

- 一、私たちは、市民の安心できる病院をめざします。
- 一、私たちは、微笑みと優しさを持って接するよう努めます。
- 一、私たちは、診療内容をわかりやすく説明・開示するよう努めます。
- 一、私たちは、いつも最新の質の高い医療をめざします。
- 一、私たちは、地域の医療機関と協力して開かれた病院を目指します。
- 一、私たちは、医療・福祉・保健の相互連携の発展に努めます。

## 患者さんの権利

- ・だれでも人権が尊重され良質な医療を公平に受ける権利を持っています。
- ・病気、検査、治療などについて、理解しやすい言葉や方法で十分な説明を受ける権利があります。
- ・十分な説明を受けた上で、治療方法などを自分の意志で選択する権利があります。
- ・診療の過程で得られた個人情報を守られ、プライバシーは可能な限り尊重されます。
- ・自分の診療記録情報の開示を求めることができます。

地方独立行政法人  
**那覇市立病院**

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1 TEL 098-884-5111(代)